

持続可能な インパクトを 生み出そう

Weekly Report 2026-2027



創 立 1969 年 4 月 14 日
承 認 1969 年 4 月 23 日
チャーターナイト 1969 年 11 月 9 日
発 行 I T・広報委員会

会長：藤田俊和 / 幹事：岡田和幸 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：堀井実 / 副幹事：朝倉一 / S.A.A：滝一孝

今週のプログラム	第 2675 回	8 月 28 日
客話：(株)ファイブアローズ取締役 田浦結城様		
担 当 者	プログラム委員会	例 会 場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2674 回	8 月 21 日
ガバナー公式訪問		
担 当 者	会長・幹事・各委員長	例 会 場 JRホテルクレメント高松



藤田会長挨拶

・皆さん、こんにちは。
森ガバナー様、木下代表幹事様、角共ガバナー補佐様、ようこそお越しくださいました。どうぞゆっくりとお過ごしください。
ドイツ・ボンとの交換留学生に関し、ホストファミリーとして低田会員にご協力いただけたとのこと、心より感謝申し上げます。
また、森ガバナーは中学生の頃からロータリーに関わっていらっしゃると伺い、その深いご経験に深く感服いたしました。
来月9月には松山へお邪魔いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。
引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

岡田幹事報告

- 回覧 ・ハイライト米山
- ・世界ポリオデーのお願い
 - ・ロータリー研究会案内
 - ・ストーリーテリングキャンペーンのお願い
 - ・香川いのちの電話通信

ビジター

2026-2027年度ガバナー 森 雄司 様
" 香川第 I 分区ガバナー補佐 角友 豊 様
" 地区副代表幹事 木下 勝好 様

メイクアップ

8月18日 高松中央RC 江島



出席報告	出席委員長：山中健治郎	
会 員 数 /	43 名	出席規準数 / 41 名
出 席 者 数 /	29 名	欠 席 者 数 / 12 名
出 席 率 /	70.73 %	ビ ジ タ ー / 3 名
最終出席率 /	7 月 24 日 72.50 %	→ 80.00 %

8 月 28 日 今日は何の日

今日生まれの有名人

バイオリンの日/民放テレビスタートの日/気象予報士の日 1998年 上田綺世 1966年 高橋洋子
1953年 日本初の民間放送、日本テレビ放送網が本放送開始 1998年 福原遥 1963年 香西かおり
1996年 イギリス皇太子チャールズとダイアナ妃が離婚 1971年 仁藤優子 1961年 城戸真亜子

アクアグレイ

アクアグレイ：Aqua Gray

<パースデーカラー>

特徴：どんな分野でも主役を望むクリエイター／色言葉：芸術・感性・想像力

四 つ の テ ス ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



ニコニコBOX	
1年間よろしく申し上げます。2026-2027年度ガバナー 森 雄司様 森ガバナー、木下副代表幹事、角友ガバナー補佐 藤田 ようこそおいでくださいました。 森ガバナー、木下副代表幹事、青少年交換の協定書 有友 の地区の承認ありがとうございました	
合計 3 件	
本 日 の 合 計	15,000 円
2026-2027 年 度 累 計	200,500 円

例会記録

【ガバナー 森雄司 様】

- ・高松西ロータリークラブの紹介
1969 年 4 月 14 日設立
高松西ロータリークラブのバナーはオリーブの色と五色台をデザインに使った。
1988 年 5 月ごろにスポーツ少年団記念大会をクラブとして実施した。
1997 年の 1 月ではインドネシア現地で難聴の治療を実施した。
今年の 1 月にはドイツのボンロータリークラブとの青少年交換を実施した。
2012-13 年度に木村ガバナーを輩出した。
高松西ロータリークラブの歴史を語っていただきました。
 - ・森ガバナーの自己紹介
1980 年 今治青少年ロータリー友の会に入会していた。
今の森ガバナーがあるのはこの時ロータリーに入ってたのが大きく影響しているそうです。
その後 40 年弱ロータリーとは関係ない生活でしたが、2018 年 1 月松山南ロータリークラブに入り現在に至る。
 - ・森ガバナーのメッセージ
「ロータリーを知り参加し楽しもう学び実践することによりインパクトを生み出そう」という森ガバナーのメッセージについて考え方をご説明されていました。
目標は行動計画の中の 4 つの優先事項に基づいて立てている。
インパクトをもたらす。基盤を広げる。積極的な関わりを促す。適応力を高める。の 4 つから目標を掲げている。
数値計画で特に今年お願いしたいのはマイロータリーのアカウント率を 75% にすることと各クラブがクラブ優秀賞を目標として入力することである。
 - ・2670 地区のホームページについて
ホームページをリニューアルした。
短期交換留学生の記事やガバナー公式訪問の記事、加藤代表幹事の一人言を載せている。
ホームページの閲覧のお願い。
そして、最後に地区大会への参加のお願い。
- 【委員会報告】
- ・国際奉仕委員 有友会員
ボンロータリークラブとの青少年交換のについて地区として承認を得た。
ホストファミリーと活動協力をお願い。

RI 会長からのメッセージ（8 月）



私から皆さんへの挑戦

オンラインカ・ハキーム・ババロラ
2026-27年度 国際ロータリー (RI) 会長

平和は、偶然に訪れるものではありません。平和は、意識的に追求され、戦略的に築かれるもので、私たちのあらゆる活動の中に意図的に織り込んでいくべきことです。これが、今年度、私がロータリーに向けて提起する挑戦です。

ロータリーは長年、平和を重点分野の一つとして位置付けてきました。しかし私は、平和を特定のプロジェクトとして取り組むだけにとどめてはならないと考えています。平和とは、私たちが計画を立てるとき、奉仕するとき、そして「どのようなインパクトを未来に残したいのか」と問いかけるとき、常に通して見るべき「レンズ」なのです。

経済平和研究所は、「積極的平和」を支える8つの柱を提唱しています。それは、「機能する政府」、「健全なビジネス環境」、「資源の公平な分配」、「他者の権利の尊重」、「近隣諸国との良好な関係」、「情報の自由な流通」、「高水準の人的資本」、そして「低い汚職水準」です。これらの柱は、持続可能な平和を実現するための必要条件です。これらを考察すれば、ロータリーに大きな可能性があることに気付きます。なぜなら、私たちの活動が、自動的に平和につながるわけではないからです。意図を持って取り組むことで、平和を築く力になるのです。

「意図的」であること。これがキーワードです。水プロジェクトだけで平和が築かれるわけではありません。しかし、「積極的平和の8つの柱」を念頭に置き、「資源への公平なアクセスが地域社会の信頼をどのように高めるのか」を考えながら設計されたプロジェクトは、平和の基盤づくりにつながります。職業研修プログラムも、それだけで和解を保証するものではありません。しかし、分断された地域社会の人々が、共通の経済的機会を通じて協力できるよう、意図的に設計されたプログラムであれば、和解への第一歩となります。変化をもたらすのは、プロジェクトそのものではありません。そこに込められた「意図」なのです。

コロンビアにおけるロータリーの「平和と繁栄への道」プログラムは、その実践例です。長年にわたる武力紛争や避難生活の影響を受けてきた地域社会で、経済的自立支援と紛争解決研修、そして地域主導の和解活動を組み合わせています。そこでは、平和は単なる副次的な成果ではありません。プログラムを設計する段階から、その中心に据えられていました。これこそ、私が皆さんに実践してほしい基準なのです。

次のプロジェクトを計画するとき、重点分野が何であれ、「この取り組みは、平和を実現するための条件をどのように生み出すか」と問うてみてください。積極的平和の柱を参考にし、自分たちの活動との接点を見つけてください。そして、そのつながりを意図的なものにしてください。発見したことは、クラブや地区、そして地域社会と共有してください。平和を「到達点」ではなく「実践」として語り合うようになれば、私たちのあらゆる行動が、より自然に平和につながるものとなるでしょう。

これまでとは違う活動を始めるということではありません。私たちが行っている活動を、より大きな気付きと目的意識、そして私たちが築こうとしている世界への明確なビジョンを持って進めていくということです。ロータリーの全てのプロジェクトには、大きな可能性が秘められています。私たちの使命は、その可能性を偶然に任せるのではなく、自らの意思によって引き出していくことなのです。

次週のプログラム		第 2 6 7 6 回		9 月 4 日	
卓話：増田勝会員					
担 当 者	プログラム委員会		例 会 場	J Rホテルクレメント高松	